

【 1 款 議会費 】

地域住民の代表機関として、地方自治体の最終意思決定機関である地方議会の役割は大幅に増大しており、組織の自己決定権を尊重し、議会の活性化及び公開を図りつつ、住民に理解が得られる議会運営が求められている。

こうした状況の中で、議会の審議能力の向上はもちろんのこと、地方議会の充実強化あるいは議員個々の政策形成能力の高揚に努めた。

特に市民の悲願でもある西九州自動車道の早期建設に向け、長年積極的な取り組みを行った結果、松浦佐々道路の事業化が決定し、全線開通に向け大きな進展がみられた。

また、本市の厳しい財政状況の下、行財政改革特別委員会を開催し、公の施設等の見直しと有効活用について横断的かつ総括的に調査研究を行った。

このような、議会の活動内容を市民に広く知らせるために、議会中継システム、会議録検索システム、議会だよりを活用し開かれた議会の構築に向けて努力を重ねた。

※議会中継システムアクセス件数			
H25 生中継	2,051 件	録画中継	1,759 件
H24 生中継	1,349 件	録画中継	1,372 件
H23 生中継	1,635 件	録画中継	1,696 件

(1) 議員研修旅費

各常任委員会では、先進都市のすぐれた施策等を見聞し、市勢浮揚の一助となるよう所管事務調査等を実施した。

- ・総務委員会 …………… 行財政改革及び次世代エネルギーについて
(北海道深川市、苫小牧市、石狩市)
- ・産業建設委員会 …………… 水産振興及び農林行政並びに観光行政について
(島根県隠岐郡海士町、隠岐の島町)
- ・文教厚生委員会 …………… 文化財保護地区におけるバリアフリー整備及び生涯現役社会について
(岡山県倉敷市、兵庫県姫路市)
- ・議会運営委員会 …………… 議会運営及び議会改革の取り組みについて
(青森県三沢市、十和田市)

(2) 特別委員会

【議会広報特別委員会】

市議会だより「とかいせん」は、定例号 4 回及び臨時号 1 回を発行した。各号発行に際し委員会を 3 回開催し、市民に議会の様子がよりわかりやすく伝わるよう記事・レイアウト等の編集に努めた。

また、11 月の改選後から新シリーズ「平戸のチカラ」を連載し、各分野で活躍されている方々取材して魅力を発信した。

※市議会だより	757 千円
発行部数	: 14,000 部
発行回数	: 定例号 年 4 回 (5 月、8 月、11 月、2 月)、臨時号 年 1 回 (12 月)

【西九州自動車道整備促進特別委員会】

平成 25 年度も引き続き、伊万里道路、伊万里松浦道路の事業推進及び松浦佐々道路の早期事業化に向け、佐賀、長崎両県の河川国道事務所、県庁並びに県議会に対し事業促進に向けて要望活動を行った。

【交通網整備対策特別委員会】

交通網の整備は、本市の活性化を図る上で欠くことのできない重要な課題であることから、西九州自動車道の整備及び交通網の整備促進を行うために、改選後から交通網整備対策特別委員会を設置し、改選前の西九州自動車道整備促進特別委員会の活動の幅を広げる形で引き継いだ。

本委員会の活動としては、国土交通省、財務省、自民党本部及び長崎・佐賀選出国會議員、九州地方整備局に対し、西九州自動車道の唐津伊万里道路、伊万里道路、伊万里松浦道路の事業促進と早期完成、松浦佐々間の平成 26 年度事業化及び道路整備予算の安定的な財源確保について要望を行った。

これらの要望活動の結果、3 月に平成 26 年度からの西九州自動車道の松浦佐々道路の事業化が決定した。

【行財政改革特別委員会】

公の施設等の見直しと有効活用について横断的かつ総括的に調査した。改選前は、2 回開催し 9 月定例会において最終報告を行った。新議会においても引き続き調査は必要として委員会を設置し 2 回開催した。

本市の公共施設のあり方を検討するにあたり基礎的資料となる「平戸市公共施設白書」(平成 26 年 3 月)の策定に助力した。

(3) 市議会会議録検索システム

会議録検索システムの活用により、インターネット、庁内のネットワークを通して市民や理事者等が本会議の内容を知ることができるなど、情報化時代に即応した事業の展開を図ることができた。